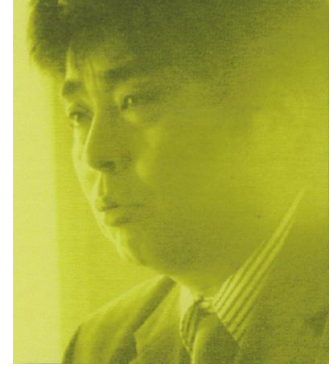


むら か み りゅう
村 上 龍

* 昭和27年 2月19日 佐世保市生まれ



○ 略歴

昭和45年 高校卒業後上京
(18歳)

昭和51年 美大在学中に「限りなく透明に近いブルー」がベストセラーに
(24歳) (現在まで350万部以上の大ベストセラー)

昭和53年 自らの監督で映画化
(26歳)

以降、作家のほか、映画監督、プロデューサーなど多方面で幅広く活躍

[平成12年から芥川賞選考委員]

○ 主な受賞歴

昭和51年 第19回群像新人賞 「限りなく透明に近いブルー」
第75回芥川賞 「限りなく透明に近いブルー」

昭和56年 第3回野間文芸新人賞 「コインロッカーベイビーズ」

平成8年 第24回平林たい子文学賞 「村上龍映画小説集」
キューバ文化功労賞

平成10年 第49回読売文学賞 「インザ・ミソスープ」

平成12年 第36回谷崎潤一郎賞 「共生虫」

平成17年 第59回毎日出版文化賞 「半島を出よ」
第58回野間文芸賞 「半島を出よ」

平成22年 第52回毎日芸術賞 「歌うクジラ」

○ その他の代表作

‘69 (昭和62)、愛と幻想のファシズム (昭和62)、トパーズ (平元)

ラッフルズホテル (平元)、希望の国のエクソダス (平12)

最後の家族 (平13)、13歳のハローワーク (平15)

55歳からのハローライフ (平24)